

令和3年度みどりーむ防災・減災講座

会場 & オンライン
同時開催

家庭の防災教室

「親子で生きのびる！」



講師：^{わしやま りゅうたろう} 鷺山 龍太郎 氏

防災士、防災塾・だるま塾長
元横浜市立長津田小学校校長

開催日時：令和3年11月14日（日）

午前10時～11時40分

開催場所：緑区市民活動支援センター「みどりーむ」

定員・対象：会場18名（小学生とその保護者。一人で参加する場合は小学5年生以上）
Zoom50名（どなたでも）

※応募者多数の場合は抽選

※感染状況により会場での実施が困難になった場合は、Zoom配信のみになります。

防災・減災に関する様々な疑問

家の中は災害の時に最も危険？！
命を落とすのは圧倒的に家の中？！

家にいるときに地震が起きたら
テーブルの下に避難でいいの？

通学路などで
地震が起きたらどうすればいい？

家で火事が起きたら？
家族でとるべき行動は？

等々

元長津田小学校校長 鷺山龍太郎 防災士が解決します。

元小学校の先生のスキルを生かした子どもにも分かりやすい講座です。耐震化と家具固定の大切さを理解するための模擬実験や、土砂災害や洪水から身を守る「マイ・タイムライン」、災害後を生き抜く「ローリングストック術」の紹介もあります。

「親子で生きのびる」ために何をしたらよいのか、親子で学びましょう！

主催 みどりーむ自主事業部会 防災・減災講座実行委員会
緑区役所地域振興課
協力 まちづくりネットワーク緑



みどりーむ運営委員会 キャラクター

<主催者からのメッセージ>

最も安心できるはずの家の中。しかし、地震でも、洪水・土砂災害でも、大多数が家の中で命を落したりケガをしたりしています。安全な家に住み、災害が起きる前からそれに備えた正しい行動をとることが防災の基本です。元長津田小学校校長 鷲山龍太郎防災士が、防災問題集「防災めぐり」・「子どもと家庭の防災マニュアル」や実験を交えて、親子で考える家庭の防災を紹介します。

「防災めぐり」例

レベル1



海岸から少し離れた川の近くで遊んでいると、大きな地震が起こった。家は近いので、高台には逃げずに、慌いで家に帰ることにした。

それは良い？ 別の考え方がある？

レベル1について (考え方の一例)

津波は川を勢いよく登ってきます。近くの家より、まずは高台へ避難し、津波警報が解除されてから家に帰りましょう。



- 申込方法 みどリーむホームページから電子申請
住所・氏名・ふりがな・電話番号・メールアドレス・質問事項(あれば) を入力してください



みどリーむホームページ

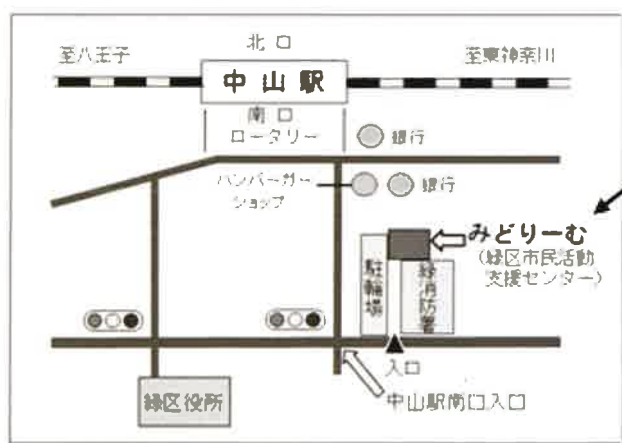
- 申込期間 令和3年10月1日(金)～10月31日(日)

※11月4日(木)までに抽選結果の連絡がない場合は、お問い合わせください。

- Zoomについて ZoomのURL等は、抽選結果と合わせてお知らせします。
抽選の結果、会場で参加できない場合は、Zoomでご参加いただけます。

- 問合せ先 みどリーむ「防災・減災講座」係
電話：045-938-0631 メール：md-shiencenter@city.yokohama.jp

- その他 会場ではマスクの着用、手指消毒、検温をお願いします。
Zoom配信のみになった場合は、会場参加予定者にもZoomのURL等をご連絡します。



みどリーむ
(緑区市民活動支援センター)
〒226-0019 緑区中山 4-36-20

*JR 中山駅南口・市営地下鉄グリーンライン
中山駅下車徒歩7分

*駐車場はありません。電車・バスをご利用下さい。

- 新型コロナウイルス感染状況によって変更になる場合があります。詳しくはホームページでご確認ください。
- 提出いただいた個人情報は、本事業及び新型コロナウイルス感染の対応以外には使用しません。